

キャンパる

ホームページ
メール

<http://my-campal.com/top/>
campal@mainichi.co.jp

聞いてみました ⑨ 大学卒業アルバム事情

購入希望 本人よりも親

3月も下旬になり、卒業式を控える人も多いのでは。今回は大学で4年間卒業アルバムを制作する委員会に所属してきた記者が、大学生30人に卒業アルバム事情について聞いてみた。

驚く人もいるが、ほとんどの大学では毎年卒業アルバムを制作している。記者の大学では大学公認の委員会として、現在3人で卒業アルバムを作ったり、卒業パーティーを企画し運営したりしている。

実際にそのような団体が自分の大学にあることを知っているか聞いたところ、5割が「知っている」と回答。縁の下力持ちのような地味な仕事なのでこの結果を記者は意外に感じた。

だが、6割の学生が卒業アルバムを購入しない。そのうち、およそ4割が「アルバムの値段が高い」と答えた。値段は各大学で異なるが、記者の大学では約1万6000円。そのうち約半額を学生が負担し、残りを大学が補助している。次に多かったのは「アルバムに自分の写真が写っていないから」で2割。確かに大きな大学では学生数が多いから、自分が写っている写真は少なそう。

逆にアルバムを購入すると答えた人に理由を尋ねた。約5割が「親が購入を希望した」と回答。記者もアルバムの申込書を送るときに、保護者宛ての住所で送る。

るように工夫している。「思い出に購入した」というのは3割ほど。

毎年、購入率を上げるためにゼミの先生のコメント欄を設けたり、学生たちから写真を募集したり工夫している。だが、実際に学生はどのようなアルバムを欲しいと思っているのだろうか。一番多かったのは「値段が安い」もの。ただ、冊子数が増えれば多いほど単価が安くなる。学生が買わなければその分値段が上がるのが実情だ。

写真を手軽に撮れる時代となった今、卒業アルバムの需要が減っているように感じる。しかし、アルバムはずっと手元に残しておけるというメリットもある。値段が高いという理由だけで購入を躊躇うとせず、手に取って学生生活の思い出を懐かしんでほしい。

【東洋学園大・釘田まこと、イラストも】

